

IRB番号「2020-GA-1307」

研究課題名「術中の深部体温低下の誘因となる体組成因子の検討」

1. 研究の対象

西暦2018年1月1日から2020年3月31日までにがん研有明病院において開腹による根治的胃切除術を実施した患者のうち、当院の多職種による周術期管理チームにて介入を受けた患者を対象とする。

2. 研究の目的・方法

目的：全身麻酔下の手術患者は、体温調節中枢機能の抑制や交感神経の抑制による血管拡張によって再分布性の深部体温低下が発生する。深部体温低下は、シバリング、血液凝固障害、手術創感染および心筋虚血誘発のリスク因子との報告がある。加えて、術中の加温により深部体温低下を抑制しえた患者において創傷治癒期間の短縮、禁食管理期間や入院期間の短縮が報告されている。したがって周術期における深部体温低下を予防することは重要である。本研究では、患者の体組成に着目し、周術期深部体温低下のリスク因子の特定を目的とする。

方法：単施設・後ろ向き観察研究
研究対象者について、下記の臨床情報を電子カルテより取得する。

3. 研究期間

承認日 ～ 2025年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

研究対象者について、下記の臨床情報を電子カルテより取得する。

- ① 患者基本情報：性別、年齢、身長、体重、術前化学療法の有無
- ② 血液検査：WBC、リンパ球％、PLT、Hb、TP、Alb、PreAlb、Tchol、CRP
- ③ InBody
- ④ 術前患者情報：術前補水量(ml)、病棟出棟前体温
- ⑤ 麻酔チャート：術式、手術時間(分)、麻酔時間(分)、出血量(ml)、輸血量(ml)、総輸液量(ml)、尿量(ml)、創洗浄量、ベアハガー加温方法、アミノ酸製剤の使用タイミング(麻酔開始経過時間(分))、手術加刀前体温、麻酔導入後5分毎における体温、術中最高体温、術中最低体温、収縮期血圧最高値、収縮期血圧最低値、収縮期血圧平均値、拡張期血圧最高値、拡張期血圧最低値、拡張期血圧平均値、心拍数最高値、心拍数最低値

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 看護部（中央手術部） 看護師 井出 綾子
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141